教室の本をふやすには

月　日　名前

発展（はってん）②

教室の本をふやすには

わたしたちの四年二組では、教室の本だなの本があまり読まれていません。そこで、もっと読んでもらうにはどうすればよいか、考えました。

まず、本のならべ方を変えることをていあんします。今は、せ表紙だけが見えるようにならんでいます。これでは、どんな本なのか分かりません。おすすめの本は、表紙が見えるように立てて置くとよいと思います。書店でも、新しい本は表紙を見せて置いてあります。

次に、友達のおすすめを書いた小さなカードをつけることをていあんします。先週、十人に聞いてみたところ、八人が「友達がすすめる本なら読んでみたい」と答えました。

カードを書くのは大変だという意見もあるでしょう。しかし、一言でかまいません。「最後の場面で泣きました。」と書くだけでも、読んでみたくなるはずです。

本は、読まれてこそかちがあります。この二つを、ぜひ来週から試してみましょう。

1 十人のうち何人が、友達がすすめる本なら読んでみたいと答えましたか。

□人

2 一つ目のていあんを、本文の言葉を使って書きましょう。

3 「カードを書くのは大変だ」という意見に、筆者は何と答えていますか。

4 筆者が一番伝えたいことはどれですか。

ア　本は読まれてこそかちがあるので、工夫して読まれるようにしたい。

イ　書店で本を買うべきだ。

ウ　カードをたくさん書くことが大切だ。

ぜんぶ　できたら　ほしに　いろを　ぬろう ☆ ☆ ☆

© きりんドリル kirindrill.com